

2016. 9. 27

プレスリリース

「内外の化繊工業の動向」

2016年 第2四半期

平素より格別のお引き立てをいただき厚く御礼申し上げます。
このたび、当会では、標記の報告書をまとめましたので、その「概要」をお届けします。
ご高覧下さいますよう、よろしくお願い申し上げます。

日本化学繊維協会

(お問合せ先 業務調査グループ TEL 03-3241-2313)

概 要 (2016年第2四半期)

2016年4-6月のわが国の景気は円高進行による輸出の減少、上場企業の減益に加え個人消費が盛り上がりならず力強さを欠いた。

このような中、化繊景況は衣料、産業資材用ともに低調で化繊生産は23.2万トン・前年比4.7%減となった。

国 内

- 1) 衣料用途は、国内向けがファッション衣料を中心に全般低調に推移。中東向け民族衣装用など好調だったテキスタイル輸出が円高の進行で不透明感が台頭した。ユニフォーム・ワーキング用は在庫調整が進まず不振が続いた。パンスト・タイツはインバウンドの需要に支えられた。ブラックフォーマルは主力の百貨店・専門店向けの不振が続いた。防寒衣料向けは前年の暖冬の影響を受けて盛り上りに欠けた。インテリア用途は、製綿用が低調に推移、カーペットはオフィス向けなどのコントラクト需要が堅調だったが車両用が苦戦、カーテンはホームユース用が低調。衛材用途は、中国向け紙おむつの製品輸出の伸びが鈍化。生活資材用途は、制汗シートが好調だった。産業資材用途は、エアバッグ用が堅調、タイヤコード用は織物および強力糸の高水準の輸入が続き、ポリエステル製では海外調達が増え、殆どを占めた。カーシート用は自動車生産の停滞や合成皮革の浸透もありファブリックは苦戦、建築資材用は首都圏の再開発事業を背景に健闘した。
- 2) 生産指数は、繊維工業全体で前年比（以下同じ）2.5%減、化繊3.1%減、紡績8.0%減。在庫指数（期末）は、繊維工業全体が1.1%増、化繊2.1%増、紡績5.3%減。（2010年=100、生産、在庫とも指数ベースでの比較）
- 3) 繊維品輸出は、ドルベースで20.7億ドル・前年比（以下同じ）0.6%減、一方円ベースでは2,235.8億円・11.4%減。形態別（ドルベース）では、繊維原料3.0億ドル・25.9%減、糸類2.8億ドル・3.4%増、織物類6.7億ドル・0.7%増、二次製品他8.2億ドル・11.0%増。仕向地別（ドルベース）では、全体の30.6%を占めた中国が4.3%減の6.3億ドル、香港（0.4%増）、韓国（4.6%減）、台湾（1.5%増）、アセアン地域はベトナム（17.1%増）、タイ（8.5%増）、インドネシア（0.8%減）・マレーシア（21.6%減）となり、それ以外では西アジア（0.9%増）、欧州（1.3%増）、米州（2.7%減）であった。
- 4) 繊維品輸入は、ドルベースで79.9億ドル・前年比（以下同じ）0.4%増、一方円ベースでは8,642.0億円・10.4%減。形態別（ドルベース）では、繊維原料1.5億ドル・1.9%減、糸類3.1億ドル・1.5%減、織物3.5億ドル・3.3%減、二次製品他71.8億ドル・0.7%増。仕出地別（ドルベース）では、全体の60.1%を占めた中国が4.2%減の48.0億ドル、韓国（2.6%増）、台湾（0.6%増）、アセアン地域は、ベトナム（11.8%増）、インドネシア（2.9%増）、タイ（4.5%増）、マレーシア（7.7%減）、それ以外では、イタリ

ア（12.6%増）、米国（12.6%減）となった。

繊維品輸出・輸入実績

| 項目 | 単位 | 2014.4-6 | 2015.4-6 | 2016.4-6 | 2015年比(%) | 2014年比(%) |
|--------|------|-------------|-------------|-------------|-----------|-----------|
| 輸出 | 千ドル | 2,305,209 | 2,079,485 | 2,067,535 | -0.6 | -10.3 |
| 計 | 百万円 | 235,429 | 252,327 | 223,581 | -11.4 | -5.0 |
| 繊維原料 | 千ドル | 436,531 | 411,379 | 304,953 | -25.9 | -30.1 |
| 糸類 | 〃 | 300,693 | 266,155 | 275,154 | 3.4 | -8.5 |
| 織物類 | 〃 | 719,714 | 662,745 | 667,267 | 0.7 | -7.3 |
| 二次製品他 | 〃 | 848,272 | 739,207 | 820,161 | 11.0 | -3.3 |
| 輸入 | 千ドル | 9,094,520 | 7,952,519 | 7,985,325 | 0.4 | -12.2 |
| 計 | 百万円 | 929,122 | 964,146 | 864,200 | -10.4 | -7.0 |
| 繊維原料 | 千ドル | 181,200 | 151,592 | 148,643 | -1.9 | -18.0 |
| 糸類 | 〃 | 359,508 | 313,663 | 309,089 | -1.5 | -14.0 |
| 織物類 | 〃 | 402,529 | 364,468 | 352,416 | -3.3 | -12.4 |
| 二次製品他 | 〃 | 8,151,283 | 7,122,798 | 7,175,176 | 0.7 | -12.0 |
| (うち衣類) | 〃 | (6,671,831) | (5,825,845) | (5,842,230) | 0.3 | -12.4 |
| 輸出レート | 円/ドル | 102.1 | 121.3 | 108.1 | -10.9 | 5.9 |
| 輸入レート | 円/ドル | 102.2 | 121.2 | 108.2 | -10.7 | 5.9 |

(出所) 財務省

5) 化繊生産は23万1,984トン・前年比(以下同じ)4.7%減、うちセルロース繊維3万7,714トン・6.1%減、合繊19万4,270トン・4.4%減となった。期末(月末)在庫は9万2,981トン・0.4%増、うちセルロース繊維1万5,160トン・4.1%減、合繊7万7,821トン・1.3%増であった。

化繊輸出(繊維原料～二次製品)は14.8万トン・前年比(以下同じ)11.4%減。うち、繊維原料6.4万トン・24.0%減、糸類3.0万トン・1.7%増、織物類(面積ベース)1.64億㎡・2.8%減、二次製品2.7万トン・3.0%増となった。品種別では、レーヨンS4.6%減、ナイロンF8.5%増、ポリエステルF7.0%減、ポリエステルS5.0%減、アクリルS13.7%減、織物類(面積ベース)はナイロンF織物14.7%減、ポリエステルF織物0.2%減、ポリエステルS織物2.2%増であった。

化繊輸入(繊維原料～二次製品)は34.6万トン・前年比6.8%増。うち、繊維原料2.0万トン・35.8%増、糸類5.5万トン・0.9%増、織物類(面積ベース)は1.5億㎡・9.9%減、二次製品23.9万トン・7.8%増、うち衣類10.1万トン・4.7%増となった。品種別では、レーヨンS56.6%増、ナイロンFは11.4%減、ポリエステルF4.9%増、ポリエステルS53.5%増、ポリエステル紡績糸2.6%減、織物類(面積ベース)はポリエステルF織物17.7%減、ポリエステルS織物8.3%減であった。

化学繊維の主要指標

| 項目 | 単位 | 2014.4-6 | 2015.4-6 | 2016.4-6 | 2015年比(%) | 2014年比(%) |
|--------|--------|----------|----------|----------|-----------|-----------|
| 化繊生産 | 千トン | 253.3 | 243.3 | 232.0 | -4.7 | -8.4 |
| セルロース | 〃 | 44.4 | 40.2 | 37.7 | -6.1 | -15.2 |
| 合 織 | 〃 | 208.8 | 203.1 | 194.3 | -4.4 | -7.0 |
| 化繊在庫 | 〃 | 89.5 | 92.6 | 93.0 | 0.4 | 3.9 |
| セルロース | 〃 | 17.0 | 15.8 | 15.2 | -4.1 | -10.8 |
| 合 織 | 〃 | 72.5 | 76.8 | 77.8 | 1.3 | 7.3 |
| 化繊輸出 | 千トン | 164.1 | 167.1 | 148.0 | -11.4 | -9.8 |
| | 100万ドル | 1,447.9 | 1,339.9 | 1,286.2 | -4.0 | -11.2 |
| | 億円 | 1,478.7 | 1,625.4 | 1,391.4 | -14.4 | -5.9 |
| 繊維原料 | 千トン | 80.9 | 84.5 | 64.2 | -24.0 | -20.6 |
| 糸 類 | 〃 | 29.8 | 29.3 | 29.8 | 1.7 | 0.0 |
| 織物類 | 百万㎡ | 166.0 | 168.1 | 163.5 | -2.8 | -1.5 |
| 二次製品 | 千トン | 26.8 | 26.3 | 27.1 | 3.0 | 1.3 |
| 化繊輸入 | 千トン | 342.6 | 323.8 | 345.7 | 6.8 | 0.9 |
| | 100万ドル | 3,908.3 | 3,360.7 | 3,506.8 | 4.3 | -10.3 |
| | 億円 | 3,992.7 | 4,075.3 | 3,794.8 | -6.9 | -5.0 |
| 繊維原料 | 千トン | 16.2 | 14.9 | 20.2 | 35.8 | 24.7 |
| 糸 類 | 〃 | 55.7 | 55.0 | 55.4 | 0.9 | -0.4 |
| 織物類 | 百万㎡ | 163.8 | 166.5 | 150.0 | -9.9 | -8.4 |
| 二次製品他 | 千トン | 238.0 | 221.7 | 239.0 | 7.8 | 0.4 |
| (うち衣類) | 〃 | (106.9) | (96.3) | (100.8) | 4.7 | -5.7 |

(出所) 経済産業省、財務省

(注) 1. 在庫は生産者在庫で各期末 2. 化繊輸出入の計には化繊くずを含む

6) 主要合織品種の動向は次の通り。

<ポリエステルF>

2016年第2四半期のポリエステルフィラメントの生産は3万1,909トン・前年同期比0.6%減、6月末在庫は1万1,194トン・前年同月比8.4%減。

衣料用：国内向けはファッション衣料中心に全般盛り上がりには欠けた。ブラックフォーマルは百貨店・専門店向けの不振が続いた。中東向け民族衣装「アバヤ」は堅調だったが、円高の進行が懸念された。遊泳用水着は順調に推移、競泳用は「オリンピックイヤー効果」を受けて機能品が堅調。「ヨガ」向けのニットは国内・輸出ともに健闘した。

産資用：タイヤコード用は織物・強力糸の輸入が高水準で殆どが海外からの調達。カーシート用は自動車生産の停滞、合成皮革の浸透によりファブリックの苦戦が続いた。カーテンは学校、ホテル向けなどのコントラクト需要は順調だったが、一般家庭用は盛り上がりには欠けた。土木関係は公共投資一巡で不振。建築関係は4年後の東京オリンピックを控えた首都圏再開発などを背景に堅調だった。

フィラメント輸出：3,520トン・前年比7.0%減、フィラメント輸入：3万3,112トン・4.9%増。

<ポリエステルS>

2016年第2四半期のポリエステルステーブルの生産は2万8,877ト、前年同期比17.6%減、6月末在庫は2万245ト、前年同月比3.7%減。

紡績：主力のユニフォーム・ワーキング向けは在庫調整が進まず不振が続く。帆布用も流通在庫過多のため調整局面入り。

製綿：合繊メーカーの生産縮小で固綿用バインダー繊維は韓国からの輸入に置き換わった。店頭寝具類の売れ行きは盛り上がりせず、製綿業者の稼働は低調。

不織布：衛材用は中国向け紙おむつ・生理用品の製品輸出の伸びが鈍化し、ステーブルの出荷に影響してきた。生活資材用は制汗シート向けが堅調、貼布剤は病院での支給枚数制限によりマーケットの縮小が予想される。車両資材用は国内自動車生産の停滞が続き全般低調だが新規の吸音材が採用され、使用部位が拡大。湿式不織布は中国での家庭用浄水器の需要拡大を背景にRO膜の支持体向けが好調。

ステーブル輸出：5,467ト、前年比4.9%減、ステーブル輸入：1万2,581ト、53.5%の大幅増。

<ナイロンF>

2016年第2四半期のナイロンフィラメントの生産は2万2,734ト、前年同期比3.7%増、6月末在庫は1万1,740ト、前年同月比4.4%増。

衣料：パンストはインバウンドが需要を下支えした。ハイテンションニットはストレッチ機能を持つポリエステル織物に代替されて国内向け、中国向け輸出ともに低調。ウインター・アウトドアなど高密度織物の輸出は米国向けが健闘したが、欧州・韓国向けが低調。国内アウトドア向けはスポーツアパレル間で「勝ち負け」がはっきりし、全般は盛り上がり欠けた。

非衣料：ラジアルタイヤ向けのキャッププライ用は底堅く推移、バイアスタイヤ用は建機・重機向けが低調だが、中国向け「農機具用タイヤ」が好調。エアバッグは製織・縫製基地があるアセアン向けの原糸輸出が回復、エアバッグ製品の国内生産・輸入が増加。カーペットはインバウンド向けホテルや大型商業施設向けが堅調、車両用は自動車生産の停滞やPPの浸食で苦戦が続いた。

フィラメント輸出：9,925ト、前年比8.5%増、フィラメント輸入7,318ト、11.4%減。

<アクリルS>

2016年第2四半期のアクリルステーブルの生産は3万5,712ト、前年同期比10.3%減、6月末の在庫は1万398ト、前年同月比3.2%減。

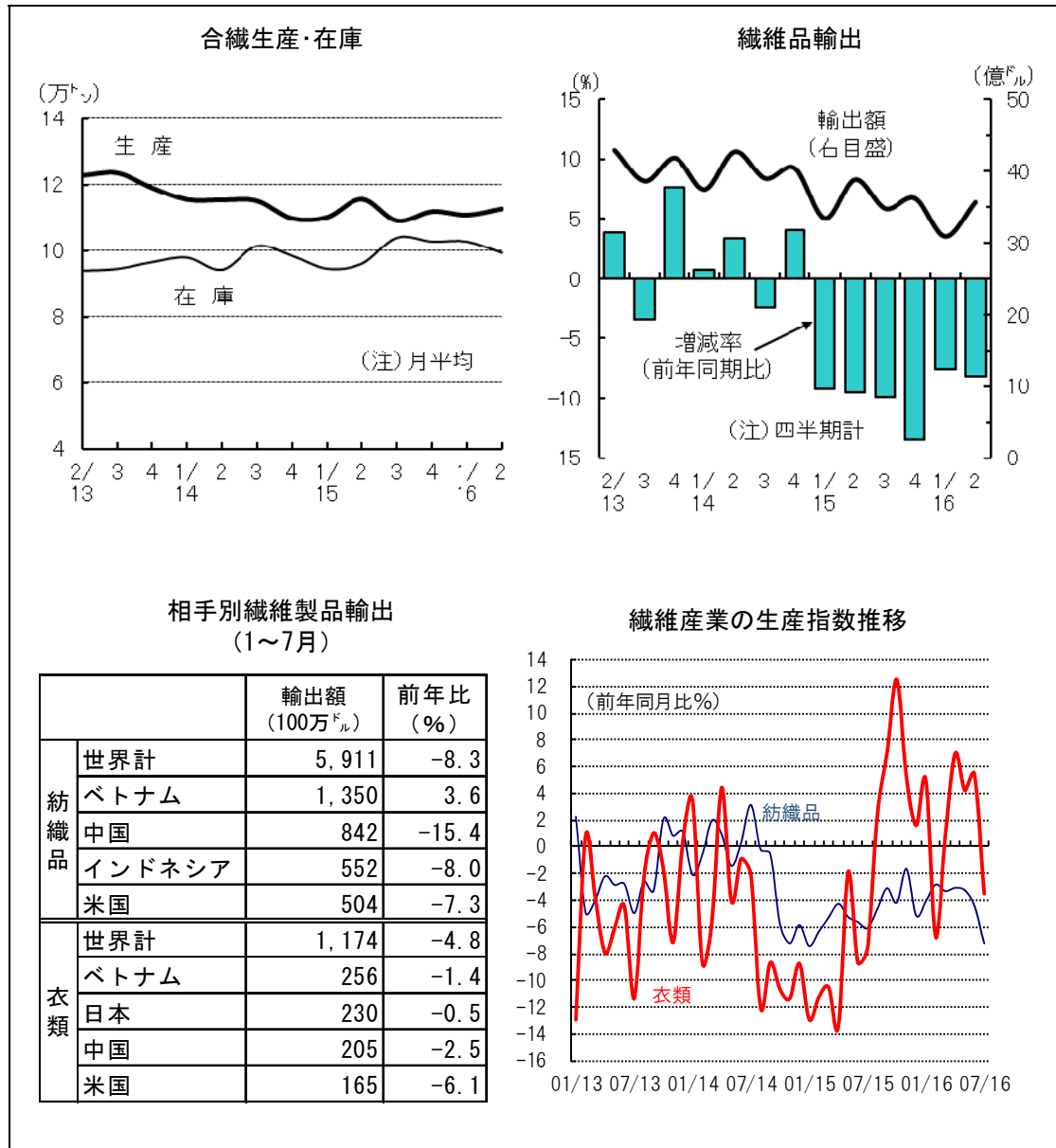
衣料用：15年シーズンの保温肌着は暖冬の影響などで店頭販売が低調だったため、16年シーズン向けが盛り上がり欠け、特にGMS（大型スーパー）向けが厳しい。国産アクリル使いのセーターは、スクール関係などのQR対応品に限定されている。靴下は大手SPA向けが安定しているが大手問屋向けの減少が顕著。

建寝装用：毛布は「ジャパノクオリティ」を強調した純国産品への取組みが重要で

あるが、スペース確保が課題。長繊維化が進むカーペットでは水回り向けなどで国産品が残っている程度。

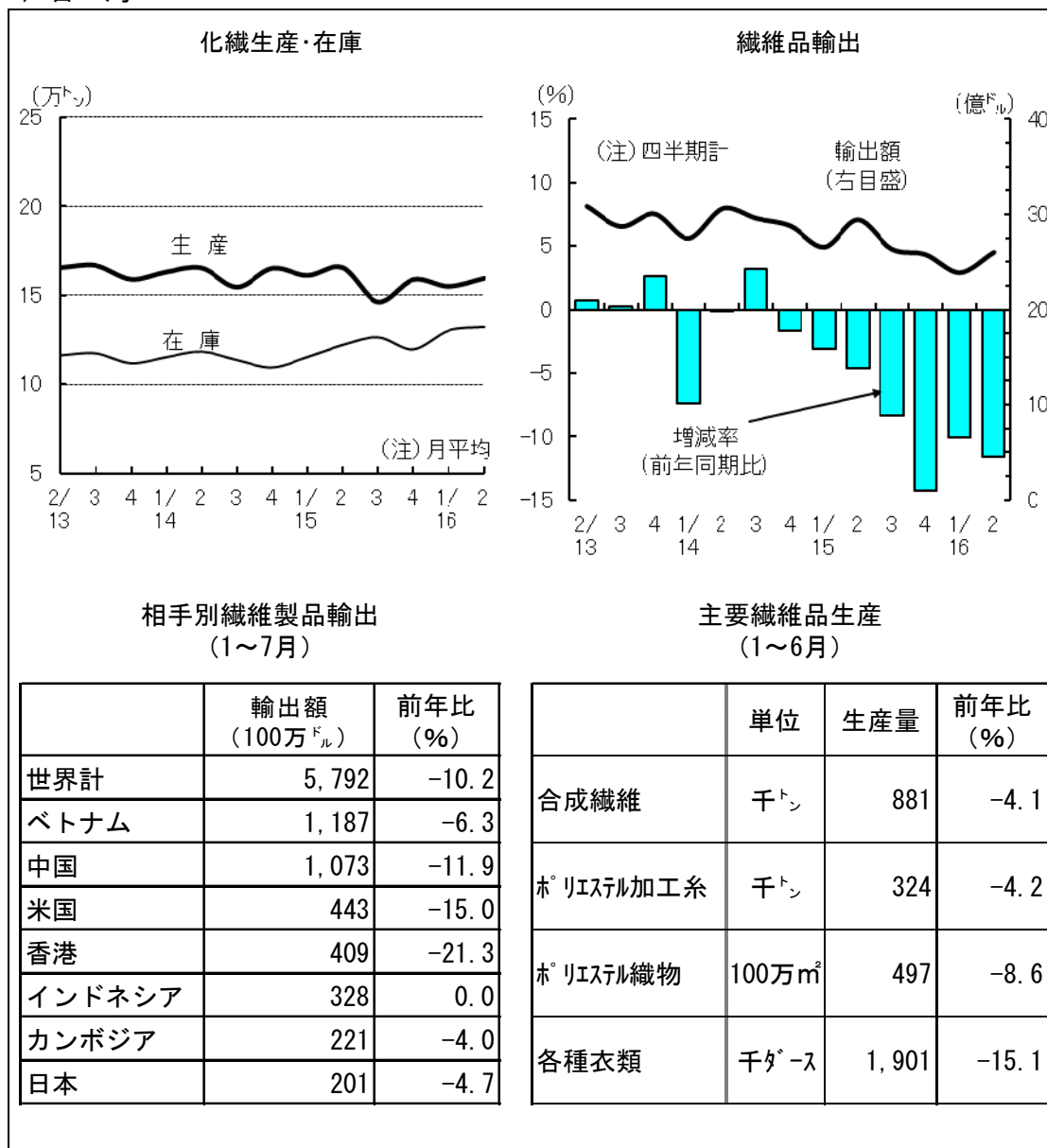
輸出：最大仕向地の中国向けが1万4,816トﾝ・前年比33.1%の大幅減、これは「日本メーカー3社に対する15.8～17.8%のAD暫定課税措置」、「中国国内のフェイクファー用生地・製品在庫が高水準」、「中国から欧米向けの再輸出品が盛り上がり欠けた」ことなどが不振の理由。

7) 韓国



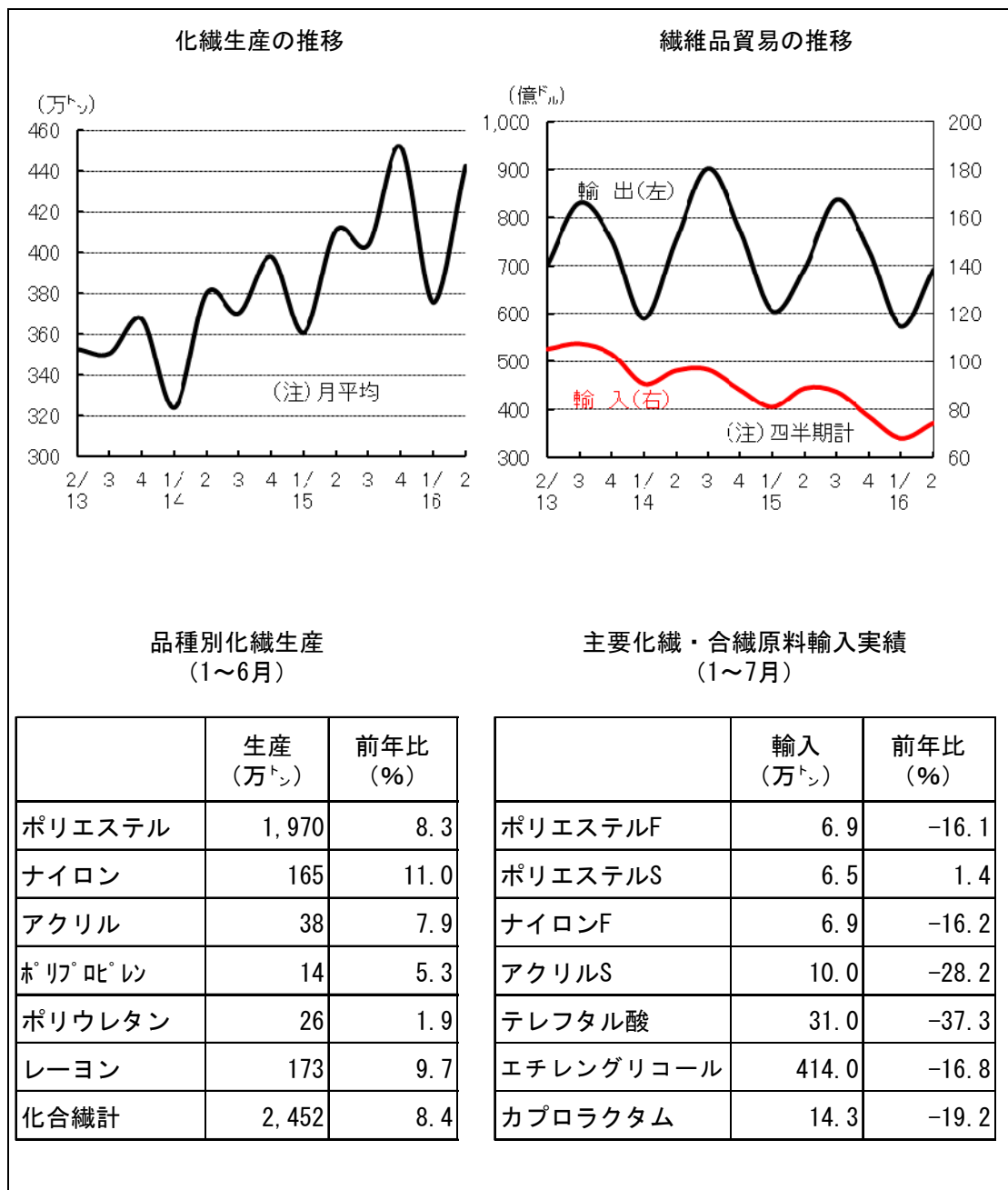
- ◆ 化繊生産は2期ぶりの減産、繊維品輸出は6期連続の減少と繊維業況は全般的に低調であった。
- ◆ 第2四半期の合繊生産は前年同期比2.6%減の33.8万^トとなった。
- ◆ 第2四半期の繊維品輸出は8.1%減の35.6億^円となった。1~7月の繊維製品輸出を相手別にみると、紡織品、衣類とも最大の相手先がベトナムとなった。紡織品輸出は、ベトナム向けは3.6%増と好調であったが、中国向けは15.4%減と2桁減、インドネシア向、米国向けも減少した。衣類は、ベトナム向けは続伸したが、主力輸出先が軒並み減少となった。
- ◆ 直近(2016年7月)の繊維品の生産指数をみると、紡織産業(-7.2%)、衣類産業(-3.5%)とも下落している。

8) 台湾



- ◆化繊生産は4期連続の減少、繊維品輸出は7期連続の減少と繊維産業は不振が続いている。
- ◆第2四半期の化繊生産は前年同期比3.7%減の47.9万トンとなった。
- ◆第2四半期の繊維品輸出は前年同期比11.6%減の26.0億ドルとなった。1~7月の繊維品輸出を相手別にみると、上位市場は軒並み前年実績割れ。ベトナム向けは6.3%減、中国向けは11.9%減、米国向けは15.0%減となった。一方、繊維品輸入は、同6.6%減の7.5億ドルとなった。
- ◆1~6月の主要繊維品の生産は、ポリエステル加工糸は4.2%減、ポリエステル織物は8.6%減、衣類は15.1%減といずれも減少となった。

9) 中国



- ◆ 化繊生産は増産が続く一方で、繊維品輸出は減少が続いている。
- ◆ 第2四半期の化繊生産は前年同期比16.4%増の1,327万トンとなった。2016年1~6月の化繊生産を品種別にみると、主力のポリエステルは同8.3%増の1,970万トン、ナイロンは同11.0%増の165万トン、アクリルは同7.9%増の38万トンとなった。なお、同期間の紡績糸生産、織物生産は6.6%増、2.0%増と低い伸びにとどまった。
- ◆ 第2四半期の繊維品輸出は前年同期比0.3%減の692億ドルとなった。一方、輸入は同16.2%減の75億ドルとなった。
- ◆ 1~7月の合繊原料輸入は、テレフタル酸、エチレングリコール、カプロラクタムとも

2桁の減少となった。また、合繊輸入では、反ダンピング措置の影響からアクリルス^Sの輸入が急減した。

| 相手別繊維製品輸出 (1~7月) | | | 繊維業界の主要指標 (1~7月) | | | |
|---------------------|--------------|------------|---------------------|----|--------|------------|
| | 輸出額 (億ドル) | 前年比 (%) | | 単位 | 指標 | 前年比 (%) |
| 世界計 | 1,502 | -3.5 | 企業数 | 万社 | 3.7 | - |
| アジア計 | 675 | 0.6 | 赤字企業数 | 万社 | 0.5 | 5.5 |
| 日本 | 109 | -4.4 | 主要業務収入 | 億元 | 38,677 | 3.9 |
| 香港 | 87 | 14.1 | うち化繊産業 | 億元 | 4,127 | 2.3 |
| アセアン | 193 | -1.4 | 利潤総額 | 億元 | 1,945 | 5.4 |
| ベトナム | 71 | -7.9 | うち化繊産業 | 億元 | 151 | -2.8 |
| EU | 282 | -5.7 | 繊維産業実際投資 | 億元 | 6,624 | 7.4 |
| 米国 | 249 | -5.8 | うち化繊産業 | 億元 | 620 | 0.0 |

| 社会小売財消費総額 (1~8月) | | | | 繊維関連物消費者物価指数 (1~8月) | |
|---------------------|----|---------|------------|------------------------|--------------|
| | 単位 | 数値 | 前年比 (%) | | 前年同期比 (%) |
| 商品売上総額 | 億元 | 210,505 | 10.3 | 消費者価格指数・全製品 | 2.0 |
| うち繊維品等 | 億元 | 8,827 | 7.2 | 消費者価格指数・衣類等 | 1.5 |

- ◆1~7月の相手別の繊維製品輸出は、全体で前年同期比3.5%減、アジア向けは0.6%の微増となった。日本向けは同4.4%減と続落、これまで好調であったベトナム向けも7.9%減となった。欧米向けは、EU向けは同5.7%減、米国向けは同5.8%減とともに減少した。
- ◆1~7月の繊維産業の主要指標は、主要業務収入は前年同期比3.9%増、利潤総額は5.4%増と引続き堅調であった。但し、化繊産業は、主要業務収入は増加したが、利潤総額は減少となった。繊維産業の投資は同7.4%増となったが、供給過剰のみられる化繊産業は横ばいとなった。
- ◆1~8月の衣料用内需は前年同期比7.2%増と引続き堅調に推移した。衣類等の消費者物価指数は前年同期比1.5%上昇した。

10) 米 国

・合織生産

2016年1～7月の合織生産は前年同期比2.0%増の170.0万トンであった。用途別ではカーペット用の増加基調が継続したが、紡織用がナイロンF、ポリエステルFのいずれも約10%減少した。

主要品種別にみると、ナイロンFは産資用が10.6%増、カーペット用が3.7%増、紡織用が10.0%減と紡織用の不振を他用途がカバーし、全体では3.8%増の31.8万トンとなった。

一方、ポリエステルFは、紡織用が10.9%減、産資用が6.1%減と減少、素材代替が進み好調が続いていたカーペット用が横ばい(0.3%増)であったことから、全体で3.6%減の37.3万トンと減少した。ポリエステルSは1.8%増の37.5万トン。カーペット用を中心に不織布用も増加した。

オレフィンFは2.9%増の53.1万トン。品種別出荷の内訳は、モノフィラメント・スパンボンド・フィルムファイバーが3.0%増、マルチフィラメントヤーンが1.8%減となった。オレフィンSは前年の大幅減の反動から16.4%増の10.3万トンと大幅に増加した。

主要合織の生産高(1～7月)

| | (1000トン) | | |
|---------|----------|---------|--------|
| | 2015 | 2016 | 前年比(%) |
| ナイロンF | 306.4 | 318.0 | 3.8 |
| 産資用 | 34.7 | 38.4 | 10.6 |
| カーペット用 | 255.4 | 264.9 | 3.7 |
| 紡織用 | 16.3 | 14.7 | -10.0 |
| ポリエステルF | 387.1 | 373.3 | -3.6 |
| 産資用 | 46.0 | 43.2 | -6.1 |
| カーペット用 | 232.6 | 233.3 | 0.3 |
| 紡織用 | 108.5 | 96.7 | -10.9 |
| ポリエステルS | 368.7 | 375.3 | 1.8 |
| オレフィンF | 515.7 | 530.7 | 2.9 |
| オレフィンS | 88.0 | 102.5 | 16.4 |
| 合織計 | 1,666.0 | 1,699.7 | 2.0 |

(出所) Fiber Review

・輸 入

2016年の1～7月の繊維製品輸入は前年同期比5.0%減の602.4億ドルとなった。仕出地別にみると、最大仕出国の中国が8.5%減の214.0億ドルと減少したのに対し、ベトナムが1.8%増の65.1億ドルと増加した。

上記の繊維品全体に対し、衣料輸入は4.0%減の457.6億ドルであった。仕出地別では中国が6.4%減の149.4億ドルと減少した一方、ベトナムが3.2%増の61.4億ドル、バングラデシュが1.1%増の32.3億ドルと増加した。

繊維製品輸入実績（1～7月）

(100万ドル)

| 繊維製品計 | | | | うち衣類 | | | |
|---------|--------|--------|--------|---------|--------|--------|--------|
| 仕出地 | 2015年 | 2016年 | 前年比(%) | 仕出地 | 2015年 | 2016年 | 前年比(%) |
| 中国 | 23,382 | 21,398 | -8.5 | 中国 | 15,959 | 14,942 | -6.4 |
| ベトナム | 6,395 | 6,512 | 1.8 | ベトナム | 5,949 | 6,136 | 3.2 |
| インド | 4,437 | 4,395 | -1.0 | バングラデシュ | 3,195 | 3,230 | 1.1 |
| バングラデシュ | 3,332 | 3,361 | 0.9 | インドネシア | 2,952 | 2,850 | -3.5 |
| インドネシア | 3,108 | 2,982 | -4.1 | インド | 2,330 | 2,322 | -0.3 |
| 世界 | 63,392 | 60,237 | -5.0 | 世界 | 47,646 | 45,762 | -4.0 |

(出所) 米商務省

・企業動向

Darlington Development と ARC Enterprises はサウスカロライナ州 Darlington のポリエステルファイバー工場を 2017 年に再稼働すると発表した。同工場は 2008 年に親会社である Wellman Inc. の倒産により一時閉鎖したが、その後 Darlington Development に譲渡され、再稼働に向けた準備を行ってきた。

Martex Fiber Southern Coop. は、テキサス州 Brownsville 工場でリサイクルポリエステル繊維のラインを増設すると発表。同社のリサイクル品の多くは自動車、不織布、家具などで使用されている。

1 1) 欧 州

・合繊生産

2016 年 1～6 月期の合繊生産は産資用ナイロン F が 3.6%減の 5.4 万トン、紡織用ポリエステル F が 4.3%減の 9.9 万トンと減少した。産資用ポリエステルは 0.4%増の 7.3 万トンと微増。ポリエステル S は 1.8%増の 33.5 万トンと増加した。

主要合繊の生産高（1～6月）

| | (1000トン、%) | | | | |
|---------------|------------|-------|-------|-------|------|
| | 2013 | 2014 | 2015 | 2016 | 前年比 |
| 産資用ナイロン F | 53.4 | 58.9 | 56.1 | 54.1 | -3.6 |
| 紡織用ポリエステル F | 118.2 | 121.1 | 103.9 | 99.4 | -4.3 |
| 産資用ポリエステル F * | 67.5 | 70.9 | 72.3 | 72.6 | 0.4 |
| ポリエステル S * | 345.3 | 335.2 | 328.7 | 334.8 | 1.8 |
| アクリル S | 278.3 | ... | ... | ... | ... |

(出所) CIRFS

(注) その他の品種は未発表。*ベラルーンを含む。

・企業動向

Hexcel Corporation は英国 Duxford に複合材料イノベーションセンターを開設した。同社はエアバス社に炭素繊維プリプレグの供給を行っており、新センターは航空機向けを中心とした樹脂や接着技術研究拠点として建設され同社最大規模である。

TenCate Advanced Composites は英ノッティンガムの Langley 工場を増設。同社はスポーツカー向けプリプレグを手掛けているが、同工場では航空宇宙、通信市場向け複合材料を中心に生産している。

合織4品種需要実績(2016年4～6月)

I. ポリエステルフィラメント需要実績

(単位:トン、%)

| | | 2016年4～6月 実績 | 対前期比 | 対前年同期比 |
|----------------|---------------------|--------------------|------------------|------------------|
| 国内 需要 | 衣料用 (加工品輸出用含む。) | 23,651 | 102.5 | 103.4 |
| | 非衣料用 (加工品輸出用含む。) | 38,065 | 101.9 | 98.6 |
| | 計 (輸入) | 61,716 (33,114) | 102.1 (104.4) | 100.4 (105.0) |
| 輸出 (原糸、加工糸) | | 1,587 | 92.0 | 96.2 |
| 需要計 | | 6,303 | 101.9 | 100.3 |
| 在庫 | | 11,194 | 105.0 | 91.6 |

(注)国内需要の()内数値は輸入量

II. ポリエステルステーブル需要実績

(単位:トン、%)

| | | 2016年4～6月 実績 | 対前期比 | 対前年同期比 |
|----------------------|---------------------|--------------------|-----------------|------------------|
| 国内 需要 | 紡績用 (加工品輸出用含む。) | 4,152 | 79.4 | 64.1 |
| | 非紡績用 (加工品輸出用含む。) | 32,582 | 90.5 | 100.5 |
| | 計 (輸入) | 36,733 (12,581) | 95.5 (100.5) | 103.6 (153.5) |
| 輸出 (ステーブル・トウ・トップ) | | 3,072 | 104.8 | 101.4 |
| 需要計 | | 39,805 | 96.1 | 103.4 |
| 在庫 | | 20,245 | 103.0 | 96.3 |

(注)国内需要の()内数値は輸入量

III. ナイロンフィラメント需要実績

(単位:トン、%)

| | | 2016年4～6月 実績 | 対前期比 | 対前年同期比 |
|----------------|---------------------|-------------------|----------------|----------------|
| 国内 需要 | 衣料用 (加工品輸出用含む。) | 6,038 | 106.8 | 115.1 |
| | 非衣料用 (加工品輸出用含む。) | 16,518 | 96.1 | 93.5 |
| | 計 (輸入) | 22,556 (7,319) | 98.8 (90.4) | 98.4 (88.6) |
| 輸出 (原糸、加工糸) | | 7,511 | 103.7 | 104.6 |
| 需要計 | | 30,067 | 100.0 | 99.9 |
| 在庫 | | 11,740 | 106.8 | 104.4 |

(注)国内需要の()内数値は輸入量

IV. アクリルステーブル需要実績

(単位:トン、%)

| | | 2016年4～6月 実績 | 対前期比 | 対前年同期比 |
|----------------------|---------------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 国内 需要 | 衣料用 (加工品輸出用含む。) | 5,193 | 78.9 | 81.5 |
| | 非衣料用 (加工品輸出用含む。) | 1,596 | 78.1 | 99.7 |
| | 計 (輸入) | 6,789 (238) | 78.7 (125.3) | 85.2 (130.1) |
| 輸出 (ステーブル・トウ・トップ) | | 27,136 | 111.4 | 84.6 |
| 需要計 | | 33,925 | 102.9 | 84.7 |
| 在庫 | | 10,398 | 117.2 | 96.8 |

(注)国内需要の()内数値は輸入量